

2023年度 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

[科目名 : 音楽Ⅰ]

[2単位]

[使用教科書 : 教育芸術社 高校生の音楽①]

[担当者 : 林 奈美]

学期	授業回数	項 目	教 科 書			レポート				
			内 容	ページ	ページ	前後	回目	課 題 内 容	締切日	
前期	1	日本の伝統音楽 日本の民謡 楽典（音名）	日本の伝統音楽のそれぞれの特徴を感じ取りながら鑑賞し、理解を深める。 イタリア、ドイツ、英語、日本音名を学習する	P60~67 P140~143 P150	P42,43 P65~67	前半	1	日本の伝統音楽「能」 日本音名、音階 日本の音階「沖縄音階」	5/9	
	2	楽典（記譜法） 楽典（写譜） 歌唱	記譜の仕方を学習する。 「校歌」写譜 「校歌」に込められた思いを感じ取り歌う。	P150	P64~65 スクールナビ			2		写譜「校歌」 音価 音楽用語
	3	楽典（音階） 楽典（音価） 器楽実技	音階とは何か理解する。 音符休符の長さとその計算をする。 ハンドベル、キーボード他による器楽実技	P151 P150	P78~81 P64,65 教員選択					3
	4	歌唱（ドイツ語） 楽典（楽語など）	ドイツ語の発音や語感を感じ取り歌う。 様々な音楽を聴いて、自分の考えを記述する。 音楽を形づくっている要素について学ぶ。	P36~39 P153	P97~100 P64					
	5	鑑賞	その曲が生まれた文化的・歴史的背景を学び自分にとっての音楽の意味や価値を考える。	教員選択						
	6	楽典（拍子記号） 西洋音楽史①	拍子記号について理解する。 バロック以前、バロック、古典派の音楽とその特徴について学ぶ。	P128~133	P68~73 97~100 P6~19					
	7	器楽実技 西洋音楽史②	ハンドベル、キーボード他による器楽実技 ロマン派、近現代の音楽とその特徴について学ぶ。	教員選択 P134~137	教員選択 P20~35	後半	4	鑑賞	6/8	
	8	創作 楽典（コードネーム）	イメージを持ってタイトルをつけ作曲する。 コードネームを理解し、使ってみる。	P28~31 P156,157	P86~90		5	西洋音楽史		
	9	鑑賞 楽器 器楽実技	その曲に使われる楽器によって、曲想や表現上の効果がどう違うか考える。 楽器の種類やその音色の違いを感じ取る。 ハンドベル、キーボード他による器楽実技	教員選択 P158~161	教員選択		6	アルトリコーダー運指 世界の民族音楽 コードネーム		
	10	世界の民族音楽 オペラ	世界の音楽について様々な角度から学び、共通点と日本独自の点について考える。 オペラの歴史的背景を学び、オペラならではの表現を感じ取る。	P54~59 P44,45						

2023年度 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

[科目名 : 音楽Ⅰ]

[2単位]

[使用教科書 : 教育芸術社 高校生の音楽①]

[担当者 : 林 奈美]

学期	授業回数	項 目	教 科 書			レポート				
			内 容	ページ	ページ	副読本	前後	回目	課 題 内 容	締切日
後期	1	日本の伝統音楽 日本の民謡 楽典（音名）	日本の伝統音楽のそれぞれの特徴を感じ取りながら鑑賞し、理解を深める。 イタリア、ドイツ、英語、日本音名を学習する	P60~67 P140~143 P150	P42,43 P65~67	前半	1	日本の伝統音楽「長唄」 日本音名、音階 日本の音階「都節音階」	11/7	
	2	楽典（記譜法） 楽典（写譜） 歌唱	記譜の仕方を学習する。 「校歌」写譜 「校歌」に込められた思いを感じ取り歌う。	P150	P64~65 スクールナビ			2		写譜「校歌」 音価 リズム
	3	楽典（音階） 楽典（音価） 器楽実技	音階とは何か理解する。 音符休符の長さとその計算をする。 ハンドベル、キーボード他による器楽実技	P151 P150	P78~81 P64,65 教員選択					3
	4	歌唱（イタリア語） 楽典（楽語など）	イタリア語の発音や語感を感じ取り歌う。 様々な音楽を聴いて、自分の考えを記述する。 音楽を形づくっている要素について学ぶ。	P90 P153	P97~100 P64					
	5	鑑賞	その曲が生まれた文化的・歴史的背景を学び自分にとっての音楽の意味や価値を考える。	教員選択						
	6	楽典（拍子記号） 西洋音楽史①	拍子記号について理解する。 バロック以前、バロック、古典派の音楽とその特徴について学ぶ。	P128~133	P68~73 97~100 P6~19		後半	4		鑑賞
	7	器楽実技 西洋音楽史②	ハンドベル、キーボード他による器楽実技 ロマン派、近現代の音楽とその特徴について学ぶ。	教員選択 P134~137	教員選択 P20~35	5			西洋音楽史	
	8	創作 楽典（コードネーム）	イメージを持ってタイトルをつけ作曲する。 コードネームを理解し、使ってみる。	P28~31 P156,157	P86~90			6	アルトリコーダー運指 世界の民族音楽 コードネーム	
	9	鑑賞 楽器 器楽実技	その曲に使われる楽器によって、曲想や表現上の効果がどう違うか考える。 楽器の種類やその音色の違いを感じ取る。 ハンドベル、キーボード他による器楽実技	教員選択 P158~161	教員選択					
	10	世界の民族音楽 オペラ	世界の音楽について様々な角度から学び、共通点と日本独自の点について考える。 オペラの歴史的背景を学び、オペラならではの表現を感じ取る。	P54~59 P44,45						

2023年度 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

[科目名 : 音楽Ⅱ]

[2単位]

[使用教科書 : 教育芸術社 高校生の音楽2]

[担当者 : 林 奈美]

学期	授業回数	項 目	教 科 書		副読本	レポ ー ト			
			内 容	ページ		ページ	前後	回目	課 題 内 容
後 期	1	日本の伝統音楽 日本の郷土芸能 楽典（音名） 楽典（調と音階） 鑑賞	日本の伝統音楽について理解を深める 全国各地の郷土の芸能について知る イタリア、ドイツ、英語、日本音名を理解する 短音階（三種類）について理解する 様々な音楽を聴いて、自分の考えを記述する	P68~77 P116,117 P123 教員選択	P42,43 P65~67 P78~81	前 半	1	日本の伝統芸能（能） 音名 日本歌曲「夏は来ぬ」	11/7
	2	楽典（記譜法） 歌唱（日本歌曲） 楽典（調と音階） 器楽実技	記譜の仕方を学習する 歌詞に込められた心情を感じ取り歌う。 音楽を形づくっている要素について理解を深める。 ハンドベル、キーボード他による器楽実技	P122 P88,89 P109 教員選択	P64 P86~90		2	ドイツ歌曲「Ich liebe dich」 音程 音楽用語	
	3	歌唱（ドイツ歌曲） 楽典（調性） 楽典（音程）	ドイツ語の発音や語感を感じ取り歌う。 音楽を形づくっている要素について理解を深める。 音程について理解する	P30,31 P111 P108	97~100 P64,65 P74~77		3	世界の民族音楽 コードネーム 短音階	
	4	世界の民族音楽 鑑賞	世界の音楽について様々な角度から学び、共通点と日本独自の点について考える。 その曲が生まれた文化的・歴史的背景を学び自分にとっての音楽の意味や価値を考える。	P78~81 教員選択					
	5	西洋音楽史 創作（変奏）	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり、その関わりによって生み出される表現上の効果を感じ取る。 個性豊かに創作表現を創意工夫する。	P84~89 P22,23	P6~37 P48~53 P82~85	後 半	4	鑑賞	
	6	移調 器楽実技	様々な調に移調するとともに、調が持つ役割について考える。 ハンドベル、キーボード他による器楽実技	P123 P123 教員選択	P82,83 P84,85		5	西洋音楽史 創作（変奏）	
	7	鑑賞	その曲に使われる楽器によって、曲想や表現上の効果がどう違うか考える。	教員選択			6	アルトリコーダー運指 移調 「校歌」を長2度上に移調する用語	

2023年度 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

[科目名 : 美術 I]

[2 単 位]

[使用教科書 : 高校生の美術 1]

[担当者 : 江口 一政]

学 期	授 業 回 数	項 目	教 科 書		副 読 本	レポ ー ト			
			内 容	ペ ー ジ		ペ ー ジ	前後	回 目	課 題 内 容
前 期	1	模写デッサン	写真を見ながらスケッチブックに描き写す。	132～ 135		前 半	1	デッサン基礎 「5段階のグレースケール」 陰影・中間色の表現	5/9
	2	模写デッサン	写真を見ながらスケッチブックに描き写す。	132～ 135			2	レタリング 「永」 デザインの基礎	
	3	模写デッサン	写真を見ながらスケッチブックに描き写す。	132～ 135			3	水彩 「屋内の風景」 水彩技法 パースの概念	
	4	レタリング	自分の名前を明朝体とゴシック体で書く。	149			4	デッサン 「立体感の表現」 タッチの概念 光源の意識	
	5	レタリング	自分の名前を明朝体とゴシック体で書く。	149			5	ピクトグラム 「クラブ活動」 コンセプトを立てる 要素の引き算	
	6	レタリング	自分の名前を明朝体とゴシック体で書く。	149			6	鑑賞・美術史 絵画・彫刻・デザインの歴史 作品に対する言語表現	
	7	色彩構成	色の3原色と白・黒の絵の具だけを使い、虹をテーマにした絵を描く。	152～ 154		後 半		6/8	
	8	色彩構成	色の3原色と白・黒の絵の具だけを使い、虹をテーマにした絵を描く。	152～ 154					
	9	色彩構成	色の3原色と白・黒の絵の具だけを使い、虹をテーマにした絵を描く。	152～ 154					
	10	デザイン	キャラクターデザイン使用目的を想定し、正面、側面、背面の3方向から設定画を描く。	80・81					
	11	デザイン	キャラクターデザイン使用目的を想定し、正面、側面、背面の3方向から設定画を描く。	80・81					
	12	デザイン	キャラクターデザイン使用目的を想定し、正面、側面、背面の3方向から設定画を描く。	80・81					

2023年度 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

[科目名 : 美術 I]

[2単位]

[使用教科書 : 高校生の美術 1]

[担当者 : 江口 一政]

学期	授業回数	項 目	教 科 書		副読本	レポ ー ト			
			内 容	ページ		ページ	前後	回目	課 題 内 容
後期	1	模写デッサン	鉛筆の表現。 グラデーションを描く。	132～ 135		前半	1	デッサン基礎 「5段階のグレースケール」 陰影・中間色の表現	11/7
	2	模写デッサン	写真を見ながらスケッチブックに描き写す。 立方体を描く。	132～ 135					
	3	模写デッサン	写真を見ながらスケッチブックに描き写す。 幾何形態を描く。	132～ 135					
	4	レタリング	自分の名前を明朝体とゴシック体で書く。	149			2	レタリング 「永」 ゴシック体 デザインの基礎	
	5	レタリング	自分の名前を明朝体とゴシック体で書く。	149					
	6	レタリング	自分の名前を明朝体とゴシック体で書く。	149					
	7	色彩構成	色の3原色を使い、混色を学ぶ。 黄←→青、赤←→青、黄←→赤	152～ 154		後半	4	デッサン 「立体感の表現」 球体を描く タッチの概念 光源の意識	12/5
	8	色彩構成	2色以上の色を混ぜて混色と色彩調和を学ぶ。 色彩構成、平面構成	152～ 154					
	9	色彩構成	2色以上の色を混ぜて混色と色彩調和を学ぶ。 色彩構成、平面構成	152～ 154					
	10	デザイン	マークやピクトグラム（絵文字）の役割を理解し、様々な情報を具体的な形に表現する。	76・77			5	ピクトグラム 「クラブ活動」 コンセプトを立てる 要素の引き算	
	11	デザイン	マークやピクトグラム（絵文字）の役割を理解し、様々な情報を具体的な形に表現する。	76・77					
	12	デザイン	マークやピクトグラム（絵文字）の役割を理解し、様々な情報を具体的な形に表現する。	76・77				6	

2023年度 学習指導計画表

長尾谷高等学校

[科目名 : 書道Ⅰ]

[2単位]

[使用教科書 : 東京書籍]

[担当者 : 東野 倫子]

学期	授業回数	項目	教科書			レポート			
			内容	ページ	副読本 ページ	前後	回目	課題内容	締切日
前期	1	楷書の学習	欧陽詢の整然として隙がない楷書を臨書する。	p 16～ 33	適宜	前半	1	「 清 泉 」	5/9
	2	九成宮醴泉銘	楷書の特徴と唐の四大家について学ぶ。	p 22～ 23					
	3	行書の学習	行書の特徴を理解し、用筆法を学ぶ。	p 38～ 57	適宜				
	4	風信帖	空海について学ぶ。 文字の配置に気を付けて、臨書する。	p 52～ 57					
	5	隸書の学習	隸書の特徴を理解する。 蔵鋒、波磔などの用筆法を学ぶ。	p 62～ 65	適宜		3	ペン字教本 原稿用紙の書き方を学ぶ	
	6	曹全碑	曹全碑を臨書する。	p 64～ 65					
	7	仮名の学習	仮名の成り立ちを学ぶ。 いろは歌	p 76～ 85	適宜	後半	4	「 世 紀 」	6/8
	8	蓬莱切	蓬莱切を臨書する。	p 86～ 87					
	9	漢字の書の創作	古典の臨書や鑑賞を通して身に付けた表現方法をもとに、手順に従って漢字の書の制作をする。	p 70～ 73	適宜				
	10	創作	草稿を作り、練習して作品にまとめる。						
	11	漢字仮名交じり文	自分の表現を目指して、制作の意図に応じて、工夫する。	p 106 ～123	適宜		6	漢字の成立と変遷 中国と日本の書家	
	12	創作	これまでに学んだ名筆の表現を生かして、創作する。						

2023年度 学習指導計画表

長尾谷高等学校

[科目名 : 書道Ⅰ]

[2単位]

[使用教科書 : 東京書籍]

[担当者 : 島 千恵]

学期	授業回数	項目	教科書			レポート					
			内容	ページ	副読本 ページ	前後	回目	課題内容	締切日		
後期	1	楷書の学習	欧陽詢の整然として隙がない楷書を臨書する。	p 16～ 33	適宜	前半	1	「大道」	11/7		
	2	九成宮醜泉銘	楷書の特徴と唐の四大家について学ぶ。	p 22～ 23				2		「風信雲書」	
	3	行書の学習	行書の特徴を理解し、用筆法を学ぶ。	p 38～ 57	適宜					3	ペン字 原稿用紙の書き方を学ぶ
	4	風信帖	空海について学ぶ。 文字の配置に気を付けて、臨書する。	p 52～ 57			後半				4
	5	隸書の学習	隸書の特徴を理解する。 蔵鋒、波磔などの用筆法を学ぶ。	p 62～ 65	適宜			5			
	6	曹全碑	曹全碑を臨書する。	p 64～ 65						6	
	7	仮名の学習	仮名の成り立ちを学ぶ。 いろは歌	p 76～ 85	適宜						
	8	蓬萊切	蓬萊切を臨書する。	p 86～ 87							
	9	漢字の書の創作	古典の臨書や鑑賞を通して身に付けた表現方法をもとに、手順に従って漢字の書の制作をする。	p 70～ 73	適宜						
	10	創作	草稿を作り、練習して作品にまとめる。								
	11	漢字仮名交じり文	自分の表現を目指して、制作の意図に応じて、工夫する。	p 106 ～123	適宜						
	12	創作	これまでに学んだ名筆の表現を生かして、創作する。								

2023年度 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

[科目名 : ピアノ基礎]

[2単位]

[使用教科書 : 指導者作成テキスト]

[担当者 : 林 奈美]

学期	授業回数	項 目	教 科 書			レポ ー ト				
			内 容	ページ	副読本 ページ	前後	回目	課 題 内 容	締切日	
前期	1	基本的知識の修得	ト音記号、ヘ音記号の読み方を同時に学習する。1から5の指番号を覚え、ドからソまでで構成された曲に取り組む。			前半		1	鍵盤のポジション ト音記号とヘ音記号 音名 強弱記号	8/5
	2	片手ずつ、片手と歌で演奏する	右手と歌、左手と歌を練習する。 自分が弾かないパートはイメージさせる。					2	鍵盤のポジション 臨時記号 音楽用語	
	3	両手で演奏する	強弱記号など基本的な音楽用語を学習し演奏に入れてみる。 両手（左は単音）で弾いてみる。							
	4	基本ポジション以外を修得する	音符、休符の名前や長さを体験しつつ覚える。 基本のポジションでは弾けない1オクターブで構成された曲に取り組む。							
	5	両手、弾き歌いを演奏する	これまで取り組んだ曲の両手と歌が同時に演奏できるよう練習する。							
	6	左手で和音を演奏する	I IV V V 7の和音を左手で弾けるようにし右手と合わせる。			後半		3	ヘ音記号の音名 音価	8/5
	7	メロディーと和音を演奏する ハ長調以外の調で演奏する	メロディーと和音で構成された曲に取り組む。 ハ長調以外の曲を弾いてみる。					4	音階 和音とポジション 調号	
	8	移調で演奏する	移調奏を体験する。							
	9	自分の好きな曲を両手で演奏する	自分の好きな曲を選び弾いてみる							
	10									